

いわみ 議会だより



6月定例会

- 2 婦人の家に代わる新しい加工施設建築スタート
- 5 岩美高生が6月定例会を傍聴
- 6 5議員が町政を質す
- 12 消防団長さん、分団長さんに聞きました

大岩保育所のなつまつり
年長さんの元気な竹太鼓が
オープニングを飾りました
(7月6日)

婦人の家に代わる新しい加工施設 建築スタート



現「婦人の家」で豆腐作りをする六軒会の皆さん

6月定例会

6月定例会は、6月12日から14日まで、3日間の会期で開きました。
一般会計補正予算など10議案のすべてを、原案通り可決しました。

主な議案の概要

農産物加工施設建設 工事請負契約の締結

役場前の県道拡幅工事に伴って、「婦人の家」に代わる新たな農産物加工施設を、旧浦富保育所跡地に建築します。

工事完成期限
2年3月25日

請負代金額
1億362万円

請負者
本庄・福上特定建設工

事共同企業体

一般会計補正予算

1億2841万円を増額して、予算総額を67億4841万円としました。

歳出の主なもの

浜浦富地区公民館の建て替えに係る補助等
3019万円

浜浦富地区公民館の建て替えを、宝くじの助成事業など各種制度を活用して支援する。

①コミュニティ助成事業
交付金 1500万円

② 部落公民館整備補助金
519万円

③ わがまちづくり資金貸付金
1000万円

地域医療介護総合確保基金事業費
3779万円

浦富地内に整備される小規模多機能型居宅介護事業所の整備費に対し、鳥取県から補助を受けて交付する。

蒲生ライスセンター改修支援事業費
220万円

JA鳥取いなばが更新する乾燥機4台の経費を補助する。

予防接種事業費
191万円増額

風しんに係る公的予防接種を受ける機会がなかった男性を、3年度まで定期予防接種の対象とする。風しん抗体価検査費と管理システム改修費を増額。

今年度、40～57歳の男性が対象。

U・J・ターン住宅改修費等補助金
490万円増額

空き家バンクを利用して転入し、住宅改修を希望する人が増加している。

消防団員退職報奨金
161万円増額

支給対象となる消防団員の退職者が16人から19人に増加した。

中学校少人数学級編制費
300万円増額

中学校3年生で生徒数が1人減少し、県の基準を下回ったため、県への協力金が増額となった。

森林整備促進基金条例の設定

森林環境譲与税の受入に伴って、森林整備に資する事業の財源として効果的に運用するため、新たな基金を設けました。今年度の受入予定額は330万円です。

新たな過疎対策法の制定に関する意見書

現行の過疎地域自立促進特別措置法が失効する3年3月以降も、過疎対策を充実強化する法制定に向けて、国会・政府に意見書を提出しました。

特別委員会の名称及び設置目的の変更

昨年12月に設置した議員報酬調査特別委員会の議論が、議員報酬のみにとどまらず議会活動の在り方や他の公的支給などに発展しているため、調査項目を追加し、名称を議会活動の在り方検討特別委員会に改めました。前々期の議会改革調査特別委員会から引き継がれた事項も含め、町民の負託にこたえられる議会になるために、必要な事項について、期間を設定して着実に実行します。

賛成討論

杉村宏議員

町議会に対する町民の評価は非常に厳しい。議会や議員の活動全般について、大いに協議を深めたい。

6月定例会の審議結果と賛否の状況

提出者	議案	審議結果	賛否の状況
町長	森林整備促進基金条例の設定	可決	全員一致
町長	特別職の職員等で非常勤のもの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正	可決	全員一致
町長	岩美病院の使用料及び手数料条例の一部改正	可決	全員一致
町長	農産物加工施設建築工事の請負契約の締結	可決	全員一致
町長	一般会計補正予算	可決	全員一致
町長	国民健康保険特別会計補正予算	可決	全員一致
町長	介護保険特別会計補正予算	可決	全員一致
町長	固定資産評価審査委員会委員の選任同意	同意	全員一致
議員	新たな過疎対策法の制定に関する意見書	可決	全員一致
議員	特別委員会の名称及び設置目的の変更	可決	全員一致

注：議長は本会議の採決に加わらない。

5月31日臨時会

30年度一般会計補正予算（専決処分）

特別交付税の決定などに伴い、6315万円の増額を承認しました。

問 出資金返還金について、いわみ道の駅では資本金に組み入れていないので、実質出資金ではない。それを出資金返還金と称するのはなぜか。

答 町は出資金として支出し、決算上も出資金としている実態に基づいて返還を受け入れたものである。

討論

反対（杉村 宏議員）

出資金返還金として受け入れることは、過ちを過ちのまま葬り去る処分だ。

国民健康保険税条例の一部改正

税率及び課税額から減額する額を決定しました。

5月臨時会の審議結果と賛否の状況

提出者	議案	審議結果	賛否の状況
町長	30年度一般会計補正予算（専決処分）	承認	反対：杉村宏
町長	30年度介護保険特別会計補正予算（専決処分）	承認	全員一致
町長	税条例等の一部改正（専決処分）	承認	全員一致
町長	国民健康保険税条例の一部改正（専決処分）	承認	全員一致
町長	国民健康保険税条例の一部改正	可決	全員一致
町長	介護保険条例の一部改正	可決	全員一致

介護保険条例の一部改正

10月からの消費増税にあわせて、介護保険料の低所得者軽減策を強化しました。

6月25日臨時会

財産の取得（2件）

10月3日開館予定の中央公民館の備品購入を、全員一致で可決しました。

○多目的ホール備品一式
取得価格 1134万円

納入者 株玉屋鳥取支店
納入期限 9月20日

○研修室外備品一式
取得価格 857万円

納入者 株衣笠商会鳥取支店
納入期限 9月20日

人事

固定資産評価審査委員会委員の選任に同意しました。

任期は、元年7月1日から3年間です。
田川 幸治さん
(陸上)

請 願 ・ 陳 情 審 査 結 果

件 名	結 果	不 採 択 の 理 由	賛 否 の 状 況
「最低賃金の改善と中小企業支援の拡充を求める意見書」の提出を国に求める請願書 提出者：鳥取県労働組合総連合 議長 田中 暁 紹介議員：田中 克美	不 採 択	各国の賃金体系が異なるグローバル社会の中で、日本企業が生き残るためには、企業の自助努力が欠かせず、最低賃金を引き上げることは必要だが、物価や経済状況が地域によって異なる中で、全国一律に最低賃金を直ちに1000円に上げることは、中小企業支援の拡充だけでは小規模事業者の存続が危ぶまれ、岩美町の実態に照らして現実的ではない。	採 択 杉村 宏 田中克美
辺野古新基地建設の中止と、普天間基地の沖縄県外・国外移転の国民的議論により、民主主義及び憲法に基づき公正に解決するべきとする意見書採択を求める陳情 提出者：「新しい提案」実行委員会 代表 安里 長従 外6名 全国青年司法書士協議会 会長 半田 久之	不 採 択	新基地建設は、世界一危険と言われる普天間基地を一日も早く全面返還するため、基地機能を3分の1に縮小して辺野古に移設するもので、政府は抑止力の維持と負担の軽減を両立する米軍再編に向けて、地方自治法に基づいて沖縄県の意見を受け止めつつ取り組んでいる。	採 択 杉村 宏 田中克美
核兵器禁止条約の日本政府の署名と批准を求める意見書採択についての陳情 提出者：ヒバクシャ国際署名をすすめる鳥取県民の会 代表 鳥取県原爆被害者協議会 会長 後藤 智恵子	採 択 (意見書提出)	—	不採択 橋本 恒 升井祐子 森田洋子 寺垣智章 柳 正敏
米軍普天間飛行場の辺野古移設を促進する意見書に関する陳情 提出者：宜野湾市民の安全な生活を守る会 会長 平安座 唯雄	採 択 (意見書提出)	—	不採択 田中克美 趣旨採択 杉村 宏
教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度2分の1還元をはかるための、2020年度政府予算に係る意見書採択に関する陳情書 提出者：鳥取県教職員組合東部支部 支部長 橋本 智洋 外1名	採 択 (意見書提出)	—	全員一致
汚染土および放射性物質等の持ち込み拒否に関する条例の制定の陳情 提出者：岸田 まどか	不 採 択	汚染土の再利用については、実証実験等で科学的に安全性が証明されていることであり、本案にあるように健康が守られないとの指摘は当たらないものと考える。	採 択 吉田保雄 田中克美

討 論

最低賃金の改善と中小企業支援の拡充を求める意見書
(不採択)

採択 (田中克美議員)

最低賃金の引き上げは、雇用の7割を占める中小企業で働く多くの女性や若者に恩恵が大きく、地方経済の活性化に効果がある。

採択 (田中克美議員)

採択 (杉村宏議員)

この陳情は世界一危険な普天間基地について、沖縄県以外の国民に議論を呼びかけるものだ。現状は、基地を固定化するか県内に移設するか、選択しようのない選択肢を突き付けている。

採択 (杉村宏議員)

日米安全保障条約があり、米軍基地の沖縄偏在は、日本全体で受け入れなければならない問題だ。

採択 (杉村宏議員)

採択 (田中克美議員)

この国際条約が、法的拘束力を持っていることに意味がある。

不採択 (寺垣智章議員)

核保有国の賛同がない核兵器禁止条約は、核兵器国と非核兵器国の対立を助長する。日本は唯一の被爆国として、核兵器国と非核兵器国の橋渡し役となり、

核廃絶に向けて現実的な取り組みを進めるべきだ。

採択 (田中克美議員)

核兵器は、使ったためではなく平和を守るため、戦争をさせないための抑止力としてやむを得ない。

採択 (杉村宏議員)

唯一の被爆国である日本こそが、率先して条約調印すべきだ。それが、世界の尊敬を受ける国として、当然の対応だ。

採択 (杉村宏議員)

米軍普天間飛行場の辺野古移設を促進する意見書 (採択)

不採択 (田中克美議員)

選択しようのない選択肢を、沖縄県民に理不尽に押し付けるものだ。

趣旨採択 (杉村宏議員)

辺野古新基地には反対であるが、長年被害を受け続けている宜野湾市民の、普天間基地撤去の気持ち深く理解する。

採択 (田中克美議員)

採択 (杉村宏議員)

汚染土および放射性物質等の持ち込み拒否に関する条例制定 (不採択)

採択 (田中克美議員)

国は福島原発事故による汚染廃棄物について、対象を33種から2種に、基準値を10000倍に緩和する法改正を行ったが、その安全性の根拠が不明だ。

議員と町長の
熱意を感じた

また傍聴したい

責任を持って
投票したい

岩美高生が 6月定例会を傍聴



傍聴した37人の高校生からいただいたレポートの一部を紹介します。

3年2組 川口敬士さん

岩美町議会を傍聴して、環境にやさしいまちづくりについて、可燃ごみの削減や、さまざまな目標がある中で、それを達成するためにどのような取り組みをしたらよいのかなどを知ることができた。また、今のごみの現状と課題についても岩美町がどのような状態なのかが分かった。

鳥取市は、マイナンバーカードがあればコンビニエンスストアで住民票を取ることができるが、岩美町ではまだそのようなシステムがないということも分かった。

議会を傍聴して知らないことがたくさんあったが、今度どのような対策をとるべきなのかを知ることができてよかった。

3年3組 真田由佳さん

私が今回参加させていただいた議会傍聴は、初めての経験でした。

会場は、そこにいる人たちが見やすく、聞きやすく工夫されているのだと思いました。議会は、国会中継などで少ししか見たことがなかったのですが、もともと質問が用意されていて、それぞれ答えていくやり方であることを初めて知りました。

防災対策については、様々な対策をするために、女性の視点を生かすことや自主防災への参加呼びかけなど、具体的な案がでていて、答弁を聞きながら納得するところが多くありました。

いろいろな社会問題に関する意見を聞くことができ、とてもよい経験になりました。

1年1組 谷岡凌さん

初めてこのような経験をして国会に似ているところがあり、興味を持ちました。討論の中で自分の意見を言ったり、相手の意見に反対したりする機会を経験して、とてもよかったと思います。僕も自分の意見をしっかりとと言えるようになりたいと思います。一般質問の時間が30分ということを知り、少し時間が短いと感じましたが、その時間で終わらせるのはすごいと感じました。少ない時間でしたが、貴重な経験をさせてもらい、また議会傍聴に参加してみたいと思いました。

3年3組 松尾綾乃さん

今回初めて岩美町議会を傍聴して、自分が知らなかったことをたくさん知ることができ、貴重な機会になりました。

短い時間でしたが、環境にやさしい街づくりについてごみの分別を徹底していることがわかりました。いくつかの自治体では、ごみ分別のスマホアプリを配信し、ごみ出しについてわかりやすくしているということについて、若者に浸透しやすく、外国人や県外からの移住者が増える中で、今後大切になってくるのではないかと思います。また、高齢者のごみ出しについては、いろいろと考えさせられることが多かったです。

3年2組 山田武蔵さん

岩美町議会を傍聴して、私は岩美町役場でこのようなことが行われていることを、初めて知りました。議会を傍聴させていただいて感じたことは、議会で町議会の議員と町長の答弁に緊張感があり、その中で岩美町を住みよい街にしていこうという熱意が感じられたことでした。

質問の内容などは、少し難しいものでしたが、岩美町の地域課題を考えるよい機会となりました。

1年1組 西垣美優さん

質問事項に対しての反論などのスピードが早くてすごいと感じましたし、質問に対しての答えも詳しくてわかりやすかったです。特にプラスチックごみの件についてはこれからの課題や反省点などとても勉強になりました。

議会を目の前で見ることができ、とても貴重な経験をすることができました。選挙権を持ったら、責任を持って投票したいと思いました。

1年1組 西岡妃菜さん

今回初めて岩美町議会を傍聴しました。プラスチックごみ対策、女性の地位向上などいろんな議題があると気づかされました。意見の応酬では自分が思っている以上に意見交換がなされていてすごいなと思いました。

18歳になったら私も選挙に行くので、もっと町の問題について考えたいと思います。また議会の傍聴をしてみたいです。

一般質問

5議員が町政を質す ただ

一般質問は、議員が自らの調査・研究、住民の声にもとづき、町執行部の方針を質し、見解を明らかにさせるものです。

結果として「現行の政策変更」や「新規政策を採用」させるなどの効果があります。

【質問のルール】

事前に質問要旨を通告し、議長の許可を得て質問します。

質問時間は1人30分以内（答弁の時間を除く）で、一問一答方式で何度でも質問できます。

6月定例会の一般質問（登壇順）

質問議員	ページ	質問事項（通告書のまま）
森田洋子	7	1 環境にやさしいまちづくりについて 2 地域防災について
橋本 恒	8	1 マイナンバーカードを利用した住民票等のコンビニ交付について 2 児童虐待に対する対応について
田中克美	9	1 国保税の子どもの均等割について 2 町内商工業の振興について 3 「部落差別の解消につながる学習」について
杉村 宏	10	1 プラスチックごみ対策を 2 女性の地位向上を 3 町政の見える化を 4 「マイナス入札」でも資産処分を
升井祐子	11	1 消費増税の本町への影響と対策について

議会だよりでは、内容を要約してお知らせします。

詳しくは、9月ごろから議会事務局や議会ホームページでご覧いただけます。

質問力を高める 議会力にいかす

議員の資質向上を目指して、4月21日に龍谷大学政策学部の土山希美枝教授をお招きして、一般質問についての研修を行いました。

一般質問をよくするためには、住民や行政の現場から具体的な事実を引き出し、その現状分析から何が問題なのかを共有し、町のためにその問題をどのように解決できるか、納得を得られることが必要。

個別的すぎる質問、論点を入れすぎてぼやけてしまった質問、国や県の政策などで町が関与できないことへの質問は残念な質問である。

教授は、これらについて事例を挙げて説明されました。質疑応答の時間では、出席議員の質問を書いた付箋



土山教授の話に熱心に聞き入る町議会議員

紙を使用して活発な意見交換になりました。一般質問で明らかになった行政課題をテーマに、常任委員会で調査して政策提言できないか、常任委員会として委員長と委員が役割分担をして、共通のテーマで執行機関に質問できないかなど、チームとしてのまとまりの大切さを強調されました。

ごみ処理・環境保全の 取り組みは

森田洋子議員

意識を持ち続けるよう 啓発したい

西垣町長



森田洋子議員

森田 第10次総合計画に、環境にやさしいまちづくりに取り組むとある。

可燃ごみの減量にどのように取り組んでいるか。

町長 町内10か所の事業所に、生ごみの減量を呼びかけ、町民に、生ごみの水切り、ミックスペーパーの分別の徹底などの啓発を続けたい。

森田 コンポスト、生ごみ処理機の補助制度の現状と課題はどうか。

町長 コンポストは、29年度4基、30年度は6基である。

生ごみ処理機は、29年度3基、30年度1基で、いずれも低調だ。活用を常に呼びかける。

森田 紙類のミックスペーパーリサイクル推進事業の現状と課題はどうか。

町長 近年、民間のリサイクル業者の回収コンテナが町内に5か所ある。小学校のPTAなどの資源回収団体は6団体ある。かなりの量を出している。行政回収が町の収入源となる。

森田 ごみの分別の種類、状況はどうか。

町長 9種類であり、県東部市町ほぼ統一の基準だ。

徹底した分別を努めた

森田 25年版ガイドブックの内容が新しく改定されている。

改訂版を作成してはどうか。

町長 新たなごみ焼却場建設もある。

それに合わせて検討をしたい。

森田 ごみ分別スマホアプリの導入はしないか。

町長 ホームページを閲覧しやすくしたい。

女性防災リーダーの育成は

森田洋子議員

自主防災組織に女性参加を望む

西垣町長

森田 22年6月より、住宅用火災警報器の設置が実施をされた。

現状と今後の課題を伺う。

町長 電池寿命は10年とされている。年数が経過しているものは、交換を願いたい。

今後、広報でしっかりと周知を図っていく。

森田 消防団員の現状と今後の課題はどうか。

町長 現在、条約定数506人のところ、実員数479人だ。

高齢化が進み、会社勤めも増えている。

団員確保を自治会にも願いたい。

森田 入団を勧めるときに、活動を理解してもらっているか。

町長 消防団の現状を見ていただき、地域は自分で守るとの姿勢を学んでほしい。

森田 女性の視点を生かした防災対策を強化したい。

防災会議の女性委員は何人か。

町長 委員総数24人のうち3人だ。割合は12・5%である。

避難所運営の女性ならではの視点や配慮を生かした防災活動が重要である。

森田 女性防災リーダーの育成はどうか。

町長 自主防災組織に、多くの女性参加を望む。地域防災活動協力員の養成講座の受講を願いたい。



ストックヤードに分別して集積された資源ごみ

住民票等のコンビニ交付の検討を

橋本 恒議員

導入する考えはない

西垣町長



橋本 恒議員

町長 30年度予算で検討したが、導入は見送った。初期費用が600万円、運営費用は年額420万円程度だ。

橋本 国と町のマイナンバーカード交付率は。

住民生活課長 交付実績は1日平均61件、窓口延長分が6・9件。

松本 住民生活課長 国が13%、町が10.5%。

橋本 費用はかかるが、窓口延長分の交付は一定数ある。

橋本 普及率が低いが、町のマイナンバーカード普及のスタンスは。

町民と町、両方にメリットがあると思うが、導入を再検討しないか。

町長 普及促進の立場だ。

町長 導入済の市町では利用率が低く、費用対効果も低いため、現状では導入する考えはない。

橋本 マイナンバーカードを利用した住民票等のコンビニ交付を検討したことがあるか。

マイナンバーカードの普及によっては、再検討する。

費用及び、住民票などの1日あたり交付数はどうか。

費用はかかるが、窓口延長分の交付は一定数ある。



町が制度を導入すればマイナンバーカードを利用してコンビニのマルチコピー機で住民票を受け取れる

児童虐待の対応体制整備を

橋本 恒議員

今後も体制整備をすすめる

西垣町長

橋本 町ホームページの児童虐待に対する情報不足を感じるが、広報体制はどうか。

平井 病院事業管理者

法律により、対応体制を整備している。医師も、虐待の早期発見に努めている。

町長 情報が分かりづらい部分がある。

橋本 町内民間医療機関

などで、虐待が発見されたときの連絡体制はどうか。

改めて、周知できるよう取り組む。

橋本 児童虐待の相談は、緊急時24時間受付となっているが、時間外は、どのような対応か。

町長 連絡体制はできている。

橋本 担当課、教育委員会、医療機関など、横の連携が重要だが、組織は整備されているか。

町長 宿直の職員が受け、担当課職員に連絡する。

今後、町内民間医療機関も加えた体制にした

橋本 学校は子どもの異変を発見しやすいと思うが、虐待を認知したときの対応体制の整備状況はどうか。

町長 要保護児童対策地域協議会を設け、連携している。

寺西 教育長 異変を発見したら、関係職員が対応し、虐待が疑われたら、主管課を通じ、児童相談所に報告、通告している。

橋本 岩美病院は、身体的な異変発見時の対応体制を整備しているか。

橋本 児童虐待事件が連日報道されているが、町の考えは。

町長 痛ましいことであり、地域全体で解決すべき問題だと考える。

子どもの均等割助成 町では無理か

田中克美議員

市町村が一緒に県を動かす のがいい

西垣町長



田中克美議員

田中 国保税の子どもの均等割を廃止できればいいと考えているか。

町長 軽減できればいいなどは率直に思う。

田中 全国知事会の要請である公費1兆円投入では、鳥取県の負担は約9.7億円になる。県が独自に支援することを求めることはどうか。

町長 子どもの均等割に對する県費投入を、町として要望する予定だ。

田中 町単独で実施する

憲法を人権教育の基本に すべきだ

田中克美議員

個別の人権問題から 学ぶ視点も必要

寺西教育長

ことは、町財政からできない相談なのか。

町長 18歳以下の人数は176人で、均等割の総額は371万円だ。

金額でいえば難しいことではないが、市町村がまとまって県を動かすというほうがいい。

田中 県教育委員会と県同和対策協議会が今年3月、教職員用指導参考資料「部落差別の解消をめざして」を公表した。

2016年12月施行の

部落差別解消推進法が、「現在もなお部落差別が存在する」と指摘し、教育と啓発を求めていると

して、学校で部落差別問題を教える際の参考として作成された。

資料は、「結婚や就職等における差別が本県でも発生している」と書いているが、県議会で知事は、差別事象は年間3件くらいと述べ、その中に結婚や就職の差別事例は

ない。

差別が存在するという資料の認識を、町教育委員会はどうか考えるか。

教育長 町民意識調査を見ても、部落差別が存在するといった認識をもっている。

田中 法が問題に行っているのは部落差別という行為であって、意識ではない。

町の学校教育において資料の活用はどのように考えているか。

教育長 3月発行のため、今年度の指導計画に間に合っていない。

各学校の児童の実態、発達段階や意識に応じて判断し活用してほしいと考えている。

田中 資料では、学校で部落差別問題を教えるというように変わる。

憲法の基本的な人権の規定を、人権を獲得してきた歴史を含めて体系的に学ぶことを、学校教育における人権教育の基本にする必要があると思うが、どうか。

調査を生かし振興計画策定を 検討していきたい

田中克美議員

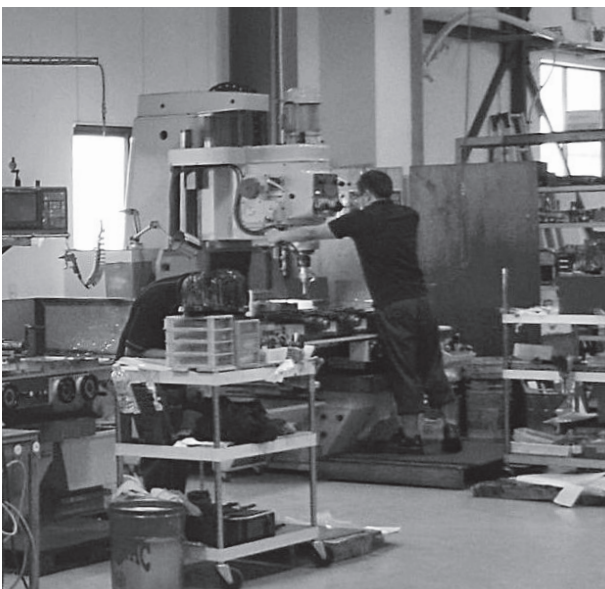
西垣町長

田中 県内で初めて実施した全事業所調査を生かし、振興計画づくりにふみだしてはどうか。

調査に関わった人、専門家、金融機関、移住者、町外在住の町出身者、町を訪れているリピーター

など、多くの意見を聞き、時間をかけて策定することを提案する。

町長 漁業者や農業者も加えて、今後の商工業の振興施策の検討をしていきたいと思っている。



工作機械で加工する町内の事業所

教育長 憲法や法律からのアプローチも必要だが、身の回りの個別の人権問題から学ぶという視点も必要だ。

廃プラの海洋流出に
独自対策を

杉村 宏議員

レジ袋の使用禁止は不可能

西垣町長

役場管理職員に女性の登用を

杉村 宏議員

管理職登用は適材適所で、
結果論だ

西垣町長

町長スケジュールなどの
公開を

杉村 宏議員

やぶさかでない

西垣町長



杉村 宏議員

杉村 廃プラは行き場を失っている。

環境省は家庭ごみ焼却施設での処理検討を求めた。

廃プラを焼却することは、悪い選択だ。

しかし、海洋への流出はもっと悪い。

町はどっし考えているか。

町長 検討は行っていない。

杉村 鯨や亀が飲み込んでしまうレジ袋などの使用禁止を目指す姿勢を示すべきだ。



プラスチックごみも混在した海岸漂着物
(浦富海岸)

町長 レジ袋の禁止は不可能だ。

ただ単にレジ袋だけが海洋生物に対して影響を与えておる状況でもない。

杉村 町は海からの恩恵を大受けている。海洋に対する思いを、理念的でも示すべきだ。

杉村 この議場におられるような管理職員に女性を登用する気があるか。

町長 管理職登用は適材適所で、結果論だ。

マイナス入札の実施を

杉村 宏議員

財政計画で検討する

平井病院事業管理者

杉村 旧岩美病院を売却するとマイナス入札となるか。

杉村 早期の入札を検討すべきだ。

病院事業管理者

土地評価額は約7千万円、解体費用は約1億円。土地評価額が建物解体費用を下回るため、マイナスの入札はあり得る。

病院事業管理者

マイナス入札も含め、中・長期的な財政計画の中で検討したい。



旧岩美病院 (浦富)

杉村 岩美まちづくりの会から、町政の見える化を提案いただき、町はゼロ回答だ。

町長スケジュールはホームページに掲載されるか。

町長 公表することはやぶさかでない。

杉村 委員会・審議会の議事概要などはどうか。

町長 開示できる範囲内

で、公開していきたい。

杉村 町が出資している会社や団体の運営状況の公開はどうか。

町長 当該団体と協議の上、検討したい。

杉村 町の子会社の状態で、原資は町民の税金を投入させていただいている。

町民の皆さんが見ていただくべき内容だ。

消費増税で消費が冷え込まないか

升井祐子議員

特産のPR、観光客の誘致に力を入れる

西垣町長



升井祐子議員

升井 消費増税の結果、この20年間で1世帯当たり約90万円も所得が減少したと言われている。

それにより、待機児童問題や、所得減少により結婚したくてもできない若者が増加、さらには97年の増税以降、失業問題から自殺者も万の単位で増えてきている。

それは当然、本町に対する様々な影響も懸念されることとなる。

地方からの声は、とても大切だと思う。

町長の増税に対する意見を伺いたい。

町長 国でしっかり議論をし、判断していただき、動向を注視したい。

升井 消費増税は福祉のためと言われているが、実際は一割しか使われていないといわれている。

本町の財政への影響はどの程度か。

町長 10%になった場合、歳出は3813万4000円増える。

歳入は、地方消費税の収入額の増加が見込まれ、2年目の交付額は、3069万5000円の増収の見込みだ。

升井 増税すると、一時的に税収は上がるが、その後さらに消費が冷え込んでいくし、ポイント還元も一年とか期間限定だ。それよりも、景気回復こそが経済成長への道。

減税こそが、最大の福祉と考える。

消費増税に伴う本町の住民及び企業への影響は、特に岩美病院、漁業、観光業はどうか。

町長 岩美病院においては、仕入れによる増税分1200万円、1400万円を、病院が負担する。

農業や漁業などは、価格が市場に左右され、仕入れや設備投資に係る消費税など、価格に十分に転嫁ができない場合がある。

また商業においては、インボイス制度導入など、事業者の経理、納税事務商品管理など相当の負担が増加することを懸念し



レジで支払する買い物客



農業や漁業は消費税を価格に転嫁しにくい(網代港での松葉がにの初競り)

ている。

さらに、消費増税後、買い控え、旅行などの手控えも予測される。

町として特産のPR、観光客の誘致などに今後力を入れていかなければならない。



前消防団長
渡 横 正 章 さん (岩井)

消防団を通して、長い間多くの方々にお世話になりました。ありがたいことだと感謝しています。
地域を守るうえで、消防団は維持しなければなりません。少子化のもとでは、女性の消防団員も求められています。

全国では女性が増えており、女性が使えるポンプなどあります。また、団の活動を継続するために、緊急時に対応できるよう、事業所と連携することも必要だろうと思います。

消防団は、火災だけでなく、自然災害への対応が求められています。男女を問わず入団していただき、地域を守る役割を担っていただくことを願っています。



消防団長
出 雲 哲 實 さん (田後)

平成31年4月2日、町長から辞令を受けた新人団長です。諸先輩の団長がやってこられた事を引き継ぎ、消防団の組織を守っていきます。

自然災害の多い近年、団員一丸となって進むことを肝に銘じております。

町民の皆さんの生命、身体、財産を守るために頑張ります。気が付かれたことがあれば何でも教えてください。

全国的に団員が減っています。男性団員が減り、女性団員が増える傾向です。岩美町でも女性団員が15人。もう少し増やしてはどうか!と思っています。

消防団長さん 分団長さんに 聞きました

6月16日(日)に、消防団員の技術向上と士気の高揚を図り、消防団活動を充実することを目的に、東部地区消防ポンプ操法大会が網代新港で開催されました。

参加された2分団長さんと、新旧団長さんに聞きました。



駅前分団長
堀 一 志 さん

駅前分団は、岩美町内の火災すべての地域に出動します。団員は、消火活動に関わる可能性は高く、毎月点検を行い、火災や自然災害に備えています。また、操法大会に参加することにより、技術を磨き、日頃の活動に活かしています。

かしています。

住民の方には、消防団活動に理解いただいています。

これからも火災を起こさないよう注意をお願いします。団員の平均年齢は上がっており、若い力を必要としています。勧誘させていただくときには宜しくお願いします。



浦富分団長
吉 田 聡 さん

浦富分団は、牧谷、町浦富、浜浦富の3つの部があり、住民の方々の生命や財産を守るため火災予防巡回、毎月の消防施設点検等を行っています。各地域の方には日々の消防活動にご理解、ご協力いただきありがとうございます。

最近火災だけではなく、異常気象による豪雨、または地震などいろいろな災害が発生しています。我が岩美町では大きな災害は発生していませんが、今後地元の方々と連携し災害時等への対応を意識した活動も考える必要があると思います。引き続き、消防活動に皆さまのご理解とご協力をお願いします。

議会だより調査特別委員会

委員	委員	委員	委員	委員	委員	委員	委員長	委員長
橋本	升井	森田	吉田	寺垣	宮本	柳村	杉中	田中
	祐子	洋子	保雄	智章	純一	正敏	克宏	義美

【発行責任者】
議 長 足 立 義 明

田中克美

編集後記

全国の町村議会の議会だよりを事例にした研修会に、今年の3月議会だよりを提出し、赤ペン先生に添削していただきました。
研修会で直に講義を聞いた参加議員によると、お褒めの言葉をいくつかいただいたとのこと。とりわけ表紙写真には、プロがとったのですか、との声があったといえます。
一昨年は県議長会から、最優秀写真賞をいただきましたが、撮影者は異なりますから、うれしさは倍です。表紙は手にとっていたたく入口ですから、今後大事にしたいです。